

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	歩道除雪機整備事業	津別町	1,252,800	504,000	

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	歩道除雪機整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津別町		
交付金事業実施場所		津別町字幸町		
交付金事業の概要		歩道除雪体制の充実を図り、住民生活の安心・安全なまちづくりに寄与するため、購入後18年を経過し長期使用に伴う老朽化が著しい歩道除雪機を更新整備します。 (歩道除雪機1台 除雪幅1100mm、除雪高740mm、総排気量688m <sup>3</sup> )		
総事業費		交付金充当額		504,000
		1,252,800	うち文部科学省分 うち経済産業省分	504,000
交付金事業の成果目標		津別町では、児童の通学路をはじめとする歩道が降雪により歩行に支障の出ることがないように、歩道除雪機の整備、強化を進めているところです。歩道除雪機は、常時、その機能が最大限に発揮できる状態を保っていなければなりません。現在の歩道除雪機は老朽化による故障が多く、除雪に遅れが生じることもあります。歩道除雪機を更新整備することによって、歩道除雪を迅速・的確に対応することが可能となり、歩道除雪力の強化が地域住民の安全安心の向上を図ることにつながり、もって発電用施設の設置及び運転の円滑化に資することを目的とします。		
交付金事業の成果指標		津別町内における除雪体制向上のため、購入後18年が経過し老朽化が著しい歩道除雪機1台を更新し、歩道除雪の充実強化を図ります。		
交付金事業の成果及び評価		本事業により、歩道除雪機1台の更新整備は、12月21日に完了しました。予定より約1ヶ月早期に整備することができたため、さっそく、年始に2回出動した歩道除雪時から使用しております。作業効率もアップし更なる地域住民の安全安心の向上を図ることができました。 当町では引き続き、降雪に対するに対応を迅速・的確に行えるよう除雪力の強化を行い、地域住民の安全安心を向上させることで、発電用施設の設置及び運転の円滑化を図っていく予定です。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
小型歩道除雪機の購入		指名競争入札	津別町農業協同組合	1,252,800
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度   該当なし				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。  
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。  
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。  
(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。  
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。